

# とっとり 県議会だより

令和3年2月定例会

No.036

Feb.  
**2**月  
議会

主な記事 Contents

代表質問	2~3p
一般質問	4~7p
委員会活動	8p
議決結果	9~11p
お知らせ	12p



## 2月定例会の概要

2月定例会は2月26日に開会し、平井知事から総額3,567億5千9百万円余の令和3年度鳥取県一般会計予算など82議案が提案された。

本会議では、代表質問は県議会自由民主党と会派民主が行い、一般質問には21名の議員が登壇。知事らと活発な議論を展開した。

会期中、鳥取県教育委員会教育長の任命など人事案件14議案が追加提案された。

審議の結果、96議案の知事提出議案全てを原案どおり可決、同意した。

議員提出議案については、「新型コロナウイルス感染症により影響を受

けた飲食業等への支援を求める意見書」「犯罪被害者支援の充実を求める意見書」など4議案が提案され、いずれも原案どおり可決した。

陳情については、2件を趣旨採択、7件を不採択と決し、3月26日に29日間の会期を閉じた。

## 1月臨時会の概要

1月臨時会が1月29日に開催され、知事から、国の予算に連動した安全・安心の鳥取県づくりを展開する総額290億1千万円余の令和2年度一般会計補正予算（第8号）など2議案が提案された。

本会議での質疑、常任委員会での審査を経て、原案どおり可決し、閉会した。

### 表紙の写真

なかぐち はるか  
(左) **中口 遥** 選手  
(日古津村出身)

女子エアライフルで東京オリンピック日本代表に決定。

(日本海新聞 2019年12月27日掲載)

むら りゅうや  
(右) **武良 竜也** 選手  
(米子市出身)

男子200m平泳ぎで東京オリンピック日本代表に決定。

## 新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染症特設サイト

最新情報、支援策、相談窓口などを確認できます。

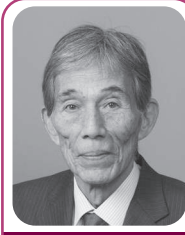
<https://www.pref.tottori.lg.jp/corona-virus/>

キーワード **鳥取県** **新型コロナ** 検索



# 代表質問

鳥取県議会自由民主党



選挙区 八頭郡  
西川 憲雄 議員

## 将来を見据えた人材育成

**問** 将来ビジョンが示す10年後の姿に向けて、どのように人材育成を図っていくのか。

**答** コロナ禍で関心が高まる都会からの副業やワーケーション（※）などによる人材の確保を図りつつ、県外学生の受け入れを含めた高校の魅力化、高度人材の育成を目指した国際バカロレア（※）の開設、ふるさと教育の拡充などにより人材育成を図り、我々の新しいチャレンジを支える人づくりを進めていく。

## 新年度の予算編成方針

**問** 総額約三千五百億円余という大規模な予算案に込めた思いを伺う。

**答** 今はお金や手間を惜しまず命を惜しむとき。医療体制や検査体制な

ど新型コロナ対策の強化をはじめ、経済社会活動のフォローやパラダイムシフト（※）後の新時代を開く取組などの予算を計上した。

## 新型コロナウイルス対策

**問** 急激な感染拡大となった場合に、いかに医療崩壊を防ぎ、県民の命を守っていくのか。

**答** 人口対比で全国一の病床の確保や検査体制の更なる拡充を行うとともに、入院時のトリアージ（※）により、圏域や県境を越えた患者の移動など、丁寧な医療体制でフォローしていく。

**問** ワクチン接種をどのように進めるのか。

**答** まず医療従事者を対象とした先行接種、優先接種を行うが、ワクチン供給が十分でないため、コロナ患者を受け入れる病院を優先する。市町村とはワクチン接種体制協議会を設置し、市町村の意向を確認しながら接種を進めていく。副反応については、県看護協会と連携して電話による相談窓口を開設する。

## 少子化対策

**問** 我が国の少子化対策の歴史を振り返る中で見えてくる本県の少子化対策が抱える課題は何か。

**答** 歴史的には国が少子化対策に踏み込まない中、鳥取県は子育て王国を標榜し、少人数学級、医療費助成、中山間地の保育料無償化など全国最先端まで引き上げてきたが、出会いの場など更に深化させていかなければならない。

## 健康寿命の延伸対策

**問** 健康寿命延伸に向けた取組を全県に横展開すべく市町村への働きかけを強化すべきではないか。

**答** 本県独自の健康マイレージやまちの保健室の取組に加え、新年度に向けて、体を動かす動画の配信、アプリを活用した認知症予防プログラムなどに取り組む。

## 農林水産資源の有効活用

**問** 林道等がない山頂部の杉、ヒノキについて、架線搬出を支援すると明言していただきたい。

**答** 山頂周辺の対策として、ワイヤーロープを活用した架線系の集荷事業をモデル的に支援し、事業化を目指していきたい。

## 「生きる力」を育む教育

**問** 子どもたちが失敗を恐れずチャレンジし、自分の人生を自分の力で生きていく「生きる力」を育む教育の総括を伺う。

**答**（教育長） 近年は自分で課題を見つけ自ら考え行動する力を育成するため、アクティブラーニング（※）型授業への改革を進めている。また、社会の変化に対応した教育として、グローバル人材の育成やICT活用教育などを進めるとともに、コミュニティスクールなど、地域と学校が連携して子どもたちを育てていく環境づくりにも取り組んでいく。

## 鳥取県の歴史教育の充実

**問** 子どもたちに鳥取県の歴史を学ぶ機会や環境を整えていただきたい。特に、美術館建設でスペースが空く博物館に、歴史を学ぶ環境を設置してはどうか。

**答**（教育長） 体験的な学びの場として、博物館などがあるが、美術館ができた後、スペースが空いた博物館の改修をする中で、歴史民俗部門の常設展示室の充実、歴史をはじめふるさとを学べる環境を充実していく。

（※）用語解説は7ページに掲載しています。

# 代表質問

会派民主



選挙区 倉吉市  
興治 英夫 議員

## コロナ感染症対策

**問** 鳥取県の対策は、検査能力の拡充や保健所機能の充実などにより、全国で最も成功している。一方、感染拡大している東京都や神奈川県などは保健所体制が逼迫し、濃厚接触者の疫学調査を縮小している。どう総括しているか。

**答** 鳥取県は、全国一位の人口当たりの確保病床数、検査能力を備え、濃厚接触者に限らない幅広い早期検査、陽性者全員の早期入院治療で、感染者の広がりを抑えてきた。メディアや政府中枢を含めてこの基本に立ち返って体制を立て直し、積極的疫学調査を徹底して、感染の連鎖を断ち切るべきだ。

## 飲食店等への支援要請を

**問** 感染が拡大している地域では、時短要請に応じた飲食店に協力金、取引事業者に一時支援金の支給があるが、鳥取・島根など感染を抑えている地域は、飲食店が休業しても協力金や一時支援金の給付がない。島根県知事と政府に対する行動を共にしてはどうか。

**答** 感染を抑えている地域の飲食店等に対する支援策ならびに、積極的疫学調査をしっかりやるべきだということ、賛同する知事らで政府に共同要望していく。

## 県内聖火リレーの見直し

**問** 聖火リレーを実施するか否かの、予見可能性を高めるべきでは。

**答** 県内での感染状況を見て最終判断するが、感染症対策のため規模を縮小して実施できるよう、組織委員会と協議を始めている。

## ワクチン接種の情報提供

**問** アナフィラキシー（※）等の副反応が報告されているが、妊婦や授乳中の方をはじめとして、ワクチン

接種の判断をするための情報提供を、しっかり行うべきでは。

**答** 県看護協会と共同で、副反応等の相談窓口を設置した。アナフィラキシーは、アドレナリン注射で対応可能だ。妊婦については知見がまとまっていないが、胎児への影響の有無については証明されておらず、12週ぐらいまでは控えた方が良くというのが医師の見立てだ。その後についても、心配な方は控えられても良いのではないか。

## 中山間地域等の振興

**問** 地区公民館単位で、買い物・移動支援、除雪、災害時の避難支援など、暮らしを支える小さな拠点活動を実施することを目指して、モデルケースを県が支援し、全県へ横展開を図ってはどうか。

**答** 倉吉市が地区公民館をコミュニティセンターにし、地域活性化などに活動を広げようとしているが、優れた取組だ。小鴨地区で地域コミュニティ交通に踏み出し、上北条地区で防災のための支え愛マップの活動などが行われている。それぞれの仕組みの中で県が応援している。横展開で広げていってもいいと思う。

## 集落営農組織の維持・発展

**問** 集落営農組織で役員、オペレー

ター等の高齢化が進んでいる。後継人材の育成や組織の広域化、ネットワークづくりなどが必要だ。行政も関わって、話し合いのきっかけづくりをすべきでは。

**答** 倉吉市の7地区合同の四王寺営農組合は、コメ以外に多様な作物を作り、ICT活用や役職定年制を設けたりしている。このようなモデル的な営農体制を広げていきたい。話し合いは基本的なことで、普及員が支えていく分野だ。徹底してやっていきたい。

## 県立厚生病院の水害対応

**問** 厚生病院は災害拠点病院で、災害時は傷病者の診療以外に、災害医療チームの受け入れ調整などの仕事が集中する。地下にある自家発電機を浸水の恐れのないところに設置し直すとともに、診療以外の業務について、他の病院と連携協力体制を作っておくべきでは。

**答** (病院事業管理者) 非常用電源の確保については、病院内の水害対応検討会で早期に対策を打ち出せるよう議論する。他の病院に、災害拠点病院の本部設置などの協力をお願いする。医療提供体制の維持とも関連するので、福祉保健部とも連携し体制を構築する。

代表質問

一般質問

常任委員会活動

議決結果



# 一般質問

2月定例会では、21人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。



島谷 龍司 議員

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

## ヤングケアラー（※）への支援について

**問** 家族の中で高齢者や障がい者の介護をする18歳未満のヤングケアラーへの支援事業を新年度に計画されているが、ヤングケアラー問題に対し、どのように認識し対応されるのか。

**答** ヤングケアラーの問題は、顕在化していなかったり、問題性に気付かなかった課題であり、アプローチの方法も確立されていない。先走り感はあるが新規施策としてその対策をスタートする。まずは実態把握し、今後、知見を重ねて政策のバージョンアップを図っていく。



福浜 隆宏 議員

選挙区 鳥取市  
会派 無所属

## ①新型コロナ②エネルギー③配信④臓器提供

**問** ①積極的疫学調査の徹底など新型コロナ対策『鳥取方式』を人類の財産として世界発信を②エネルギー地産地消に向けて県と市町村で適地ゾーニングを③コロナ対策同様に災害対策本部会議の映像配信と県事業は集客&配信のハイブリッド開催を④臓器提供意思表示率向上に向け運転免許更新時に動画視聴を。

**答** ①世界の取組につなげたい②大賛成。市町村に勧めたい③情報共有のため検討。イベントもハイブリッド増やす④（警察本部長）啓発動画の活用を検討。



語堂 正範 議員

選挙区 東伯郡  
会派 自由民主党

## 誰もが夢を描ける鳥取県を実現するために

**問** コロナ禍での社会不安、自粛マインドなど大きな影響を及ぼしている。このようなときだからこそ、県民が夢や希望を抱き、その実現に向かっていくために「スター誕生」のような公開オーディションを行っては。

**答** 先だつて琴浦町において『コトウランドリーム』という、イベントが開催されたと同様。いろいろな人たちが集まってくる起爆剤になれば確かによい。こうした公開政策オーディションもやってみよう。



銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市  
会派 公明党

## ①コロナ経済対策を②健康対策について

**問** ①コロナ困窮店舗への支援を／Go To Eat 食事券利用PRを②提案してきた健康マイレージ事業は／ウォーキングアプリを使った健康対策、全県挙げて進めるには一人で歩いても励みになる仕組みを。

**答** ①新型コロナ克服応援事業を増額し、飲食は新年度も申請認める／プレゼントキャンペーンを強化する②たび重ねて提案いただき、取り込みながら健康政策を動かしてきた／aruku&（※）というアプリで倍増の効果があり、さらに展開していく。



安田 由毅 議員

選挙区 境港市  
会派 自由民主党

## 境港水産物直売センター整備事業

**問** 境港水産物直売センターのリニューアル整備は他産地との競争力を高め、これからの中海圏地域経済の起爆剤になる可能性を十分に持っている。公益性もあり、バリアフリーの観点からも県として駐車場、トイレ整備の補助を検討すべきでは。

**答** 地元の観光施設として境港市が補助するのであれば、県も応分の負担を行う。福祉のまちづくりの観点もあり、境港市と話がまとまれば駐車場、トイレ整備の支援・対応を考えたい。



鹿島 功 議員

選挙区 西伯郡  
会派 自由民主党

## 令和3年度農林水産業予算と農業振興政策

**問** コロナ禍の厳しい状況下にも直面している中でも、将来の農業に夢と希望を持って取り組めるよう、環境を整備することが強く求められている。知事の思いを問う。

**答** コロナ禍の中で、一つの転機、踏ん張りどころである。農業の再生とSDGsの時代をにらんだ基盤づくりを行う。議員をはじめ関係者の強い要望もあり、農業収入保険の加入促進の緊急事業を組んだ。農林水産業対策は、15か月予算としては過去最大規模になった。



# 一般質問

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧いただけます。

鳥取県議会

検索



※掲載に時間がかかる場合があります。



由田 隆

議員

選挙区 倉吉市  
会派 無所属

## 鳥取県人権尊重の社会づくり条例について

**問** 令和元年6月議会で、平成28年に制定された部落差別解消推進法に基づく、県の同和行政推進のために条例を求めた経過があり、この度、既存条例改正案が上程された。改めて、この改正案に対する知事の“想い”を伺う。

**答** 鳥取県人権尊重の社会づくり条例の改正について、議員からも部落差別解消法との関わりの中で、条例上のルール規範が必要との指摘もあり、インターネットを利用した誹謗中傷を条例の射程範囲とした、全国初の条例になる。



濱辺 義孝

議員

選挙区 鳥取市  
会派 公明党

## 労働者協同組合法取組へのサポート体制構築

**問** 令和2年12月超党派の議員立法で労働者協同組合法が成立した。この法は協同労働を行う団体に法人格を認める。少子高齢化、地域の担い手不足など、課題解決に重要な役割を担う。組合設立に当たりサポート体制構築について知事に問う。

**答** 新しいジャンル、働き方、社会貢献など、可能性を持つ、いい仕組みができた。対象者の拡大を目指す。支援が円滑に進むように、庁内で連絡会議のようなものを組織し、取り組んで行く。



川部 洋

議員

選挙区 倉吉市  
会派 自由民主党

## 民間提案事業サポートデスクについて

**問** 新年度設置される民間提案事業サポートデスクが、行政と民間の違いを乗り越えて、官民連携を推進するために果たすべき役割は？単に民間の提案を担当課につなぐだけでなく事業が実現するよう最後までサポートすることが必要ではないか？

**答** 民間のアイデアやノウハウを役所風に翻訳し、役所の事業とつなぎ合わせるという非常に面倒な作業をもう一度立ち上げる。その際の役所と民間のずれをチェックさせるような民間の知恵が入る仕組みを考えたい。



坂野 経三郎

議員

選挙区 鳥取市  
会派 会派民主

## ヤングケアラー（※）キャリア教育

**問** 休学して実家に帰り、親の介護をしているという鳥大生の話聞いた。18才以上の若者に対しても実態調査や対策を行う必要があるのでは。

**答** 大学生から29才までをサンプル調査する。大学も入りヤングケアラー問題対策会議を行う。

**問** 鳥取吠え～るずや、NPO法人ドットジェーピーの非常に素晴らしいキャリア教育を経験した。学校の取組と民間の取組を融合させる取組はどうか。

**答** (教育長) 名義後援や、高校生出席をPRするよう取り組む。



澤 紀男

議員

選挙区 米子市  
会派 公明党

## 鳥取県の花の生産・花き振興について

**問** 国内最大級のフラワーパークとして年間約30万人が訪れる「とっとり花回廊」は県の花き振興を図るうえで、どのような役割を担っているのか、また花壇苗などを供給している生産者を中心とした鳥取県苗木・鉢物生産研究会の取組について所見を伺う。

**答** 花回廊をてこにして県の花き栽培が急速に成長してきた。また鳥取県苗木・鉢物生産研究会は新品種の開発や推奨、商流、協同運送体制など大きく役立っている。今後も支援をしていく。



市谷 知子

議員

選挙区 鳥取市  
会派 無所属

## コロナ、風力、核兵器、性暴力、30人以下学級

**問** ①新型コロナ②医療福祉施設での定期的検査③情報格差ないよう地方放送局に手話を④業者応援金⑤大規模風力発電に反対するなど地上権契約させ住民分断する会社に指導を⑥核兵器禁止条約にサインしない政府への対応⑦同意なき性行為は犯罪と法明記を⑧30人以下学級実施。

**答** ①⑦感染出たら一斉検査②働きかけ続ける③検討したい④きちんとするよう申す方針貫く⑤被爆者署名した良心持ち続ける⑥大臣に書面提出⑦(教育長)市町村と意見交換し方向性検討。

# 一般質問



内田 隆嗣 議員

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

## 企業局が運営する工業用水事業について

**問** 企業局全体の正職員43人の令和元年度の給与、手当等人件費総額は約3億4,566万円であり、1人当たりの人件費総額は803万9,000円。工業用水を公務員が運営する必要性を感じない。電気事業を含めた包括的民間委託や指定管理について、すぐにも検討すべきと考えるが、知事の所見を伺う。

**答** 県民への説明責任を果たす意味で、県の組織で運営すべきか？民間の活力の導入が可能か？不断の努力でやっていく。



中島 規夫 議員

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

## 生活福祉資金と生活保護、企業局職員定数

**問** ①生活福祉資金利用は、令和2年度約2,500世帯増。そのうち何割かは生活保護に移行するが知事の考えは②水力発電コンセッションで電力の44%を引き渡すのに職員定数は40人から6人減にとどまるが知事の考えは。

**答** ①米子・鳥取に該当者多く他にも2町から相談がありケースワーカー等の8名増を予定し市町村と情報を共有、柔軟に対応する②安全確保、安定供給、災害時対応等で発電量に比例して業務量が減ることはないが、毎年度精査し適正に配置する。



常田 賢二 議員

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

## ①観光戦略②景観政策③まんが王国とっとり

**問** ①観光宿泊業への支援は②新因幡ライン(※)の景観形成をどうする③谷口ジロー先生の原画常設展示を。漫画原画の保存・デジタルアーカイブ(※)が必要では。

**答** ①宿のクオリティを上げる魅力アップ事業等で応援したい②新年度に向け景観形成条例、県の条例に基づく景観形成行動計画をこの沿道で策定する③著作権等難しいが関係者と話し合いたい。県立博物館のキャパシティが空くので教育委員会に願います。青山剛昌ふるさと館・水木しげる記念館も応援していく。



野坂 道明 議員

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

## コロナ禍を乗り越える行財政改革のあり方

**問** ①PPP/PFI(※)検討方針に導入可能性調査は行革局が行うと明記すべき②PFS(※)手法を施設管理に限らずソフト事業も含め導入を検討すべき③県営住宅の管理運営体制の見直しを検討すべき④PPP/PFI導入に関し県外郭団体も一切例外とせず見直すべき。

**答** ①方針の中に今一度明記することを考えてみたい②どこがふさわしいか研究も含め始めてみたい③改めて利害得失については整理をさせていただきたい④見直せるところは無いが全庁的に考えていきたい。



森 雅幹 議員

選挙区 米子市  
会派 会派民主

## 島根原発規制審査終結に伴う安全協定

**問** 立地並み安全協定を追求してきたが、島根原発2号機の規制委員会審査終結が近づいた。中国電力の対応と知事の考えは。

**答** 実際に立地並みというところを踏み込む必要がある、これが議会側の意思だった。これを3号機や2号機の問題などのたびに中電側に伝えている。現在中電側に宿題を投げた形。返答のない限りは、この再稼働に向けた議論を進めることが難しいことは、中電側も理解しているはず。現在何らかの検討をしていると受け止めている。



浜田 妙子 議員

選挙区 米子市  
会派 会派民主

## 重症心身障がい児者と在住外国人対応

**問** ①県内医療的ケア児は令和2年度144名。その社会環境を探る必要がある。新年度の総合療育センター予算の目的は。世界の障がい者福祉は自己決定と支援が主流。北欧に学び日本一の鳥取モデルを示して欲しい②県内外国人就労者は令和2年10月末3,250人。日常生活に必要な『易しい日本語集』が必要では。

**答** ①大学や病院等の役割分担や人材問題等検討。鳥取らしい福祉社会を作りたい②教育委員会、警察分野も含めプロジェクト的に研究させていただきたい。

(※)用語解説は7ページに掲載しています。

# 一般質問



福間 裕隆 議員

選挙区 西伯郡  
会派 会派民主

## 大型風力発電計画

**問** 地球温暖化の現状にブレーキをかけ、地球を守るための風力発電事業が、地域の環境を壊す恐れが生じている。心を寄せ合い、支え合ってきた地域コミュニティに亀裂を生じ分断されてしまう。知事の見解は？

**答** 最終的には地元の集落、それぞれの区のお考え、それを統括している基礎自治体、地元のお考えをできる限り反映できるように県の役割、県の権限を行使していく。これを県の基本的な戦略として市町村のお考えをこの機会に伺っておく。



伊藤 保 議員

選挙区 東伯郡  
会派 会派民主

## 非常駐車帯の適正利用について

**問** 山陰道は今や県民の生活道になっているが、非常駐車帯の適正利用について、県民への周知が必要ではないか。

**答** 山陰道では非常駐車帯が約550m間隔で設置され、用途が定められている。様々な広報媒体を通じて非常駐車帯の正しい使い方を周知する。(警察本部長) 車両の故障、運転者の病気等やむを得ない場合を除き駐車禁止である。必要のない利用は事故を誘発する原因ともなるので、免許更新時講習等においても必要な周知を図りたい。



浜崎 晋一 議員

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

## ポストコロナ時代のとっとり創生

**問** ①コロナ対策の総括と第4波への備えは②地方への関心を取り込み、更なる関係人口創出を③デジタル化等で価値観が変わる世の中でも、子どもたちのための取組を④県内産業が再び成長できる施策展開を。

**答** ①必要病床確保や検査体制充実化など医療機関と連携して進めたい②ワーケーションなどを通じモデル構築したい③(教育長)地域の宝である子どもたちが健やかに育つ教育行政目指したい④既存企業の応援などビジョンに沿って道筋描きたい。

## 用語解説

### 2ページ

#### ●ワーケーション

テレワークの活用などにより、リゾート地や地方などで働きながら休暇をとること。

#### ●国際バカロレア

国際的な視野を持った人材の育成を目的に、国際バカロレア機構(本部ジュネーブ)が提供する国際的な教育プログラム。

#### ●パラダイムシフト

その時代や分野において当然のことと考えられていた認識や思想、社会全体の価値観などが革命的にもしくは劇的に変化すること。

#### ●トリアージ

災害現場等において多数の傷病者が同時に発生した場合、緊急度や重症度に応じて適切な処置や搬送を行うために治療優先順位を決定すること。

#### ●アクティブラーニング

一方的な講義形式の授業ではなく、グループワークやディベートなど、能動的に学習への参加を取り入れた授業や学習の方法。

### 3ページ

#### ●アナフィラキシー

医薬品等に対する急性の過敏反応。

### 4、5ページ

#### ●ヤングケアラー

本来大人がすると想定されているような家事や家族の介護などを日常的に行っている子どものこと。

### 4ページ

#### ●aruku&(あるくと)

ウォーキングアプリの一つ。スマホを使って歩いて貯まったポイントで地域の特産品などが当たる。

### 6ページ

#### ●新因幡ライン

国土交通省の登録制度「日本風景街道」の一つで、平成28年に国道29号と482号の一部区間が登録された。

#### ●デジタルアーカイブ

有形・無形の文化資源(文化資料・文化的財)等をデジタル化して記録保存を行うこと。

### 6ページ

#### ●PPP/ PFI

官民連携とその手法の一つを指し、民間事業者の資金やノウハウを活用して公共施設の整備・運営を行うこと。

#### ●PFS

成果連動型民間委託契約方式。官民連携の手法の一つで、行政課題に対応した成果指標を設定し、その達成状況に応じた支払いを行うこと。

## 答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事(各部署局長の答弁も含む)。教育長、警察本部長、病院事業管理者は知事の部局ではないため、別に表記した。

### 会派正式名称

【自由民主党】 鳥取県議会自由民主党  
 【会派民主】 会派民主  
 【公明党】 公明党鳥取県議会議員団

## 常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や現地調査、出前県議会、勉強会などの活動を続けています。

### 総務教育常任委員会



2月定例会では、本委員会所管の令和3年度鳥取県一般会計予算など17議案について、慎重に審査を行った結果、いずれの議案も妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、今回新たに提出された陳情2件については、それぞれ慎重な審査を行った結果、男女共同参画施策の更なる推進を求める意見書の提出についての陳情は、更なる男女共同参画社会の実現を求める必要はあるが、国において、「第5次男女共同参画基本計画」を策定し、女性参画の拡大に取り組むこととされているなどの意見から「趣旨採択」と決定し、その他1件の陳情については、「不採択」と決定した。

### 福祉生活病院常任委員会



2月定例会では、本委員会所管の令和3年度一般会計予算など40議案について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。また、今回新たに提出された陳情4件について審査を行い、悪徳商法による消費者被害をなくすための法改正等を求める意見書の提出についての陳情は、改正案が今国会に提出されているため「趣旨採択」、その他3件の陳情は「不採択」と決定した。

11月末に行った「子どもの権利保障」をテーマにした出前県議会でも得た課題等について、執行部と勉強会を行い、県施策反映の参考としていただくよう「要保護児童及びその家族への支援の拡充」について提言を行った。

### 農林水産商工常任委員会



2月定例会では、本委員会所管の令和3年度鳥取県一般会計予算など19議案について慎重に審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

令和2年度補正予算の主な事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた県内中小企業等の経営安定を図るため、制度融資の経費負担を円滑に行うことを目的とした基金の創設など、令和3年度当初予算の主な事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた県内産業がこの危機に打ち克つために、各産業におけるデジタル化や事業転換の推進、次世代を担う人材育成の支援などであった。

### 地域づくり県土警察常任委員会



2月定例会では、令和3年度鳥取県一般会計予算など6議案について慎重に審査を行い、いずれの議案も妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。併せて、新たに提出された陳情3件を審査し、このうち新型コロナウイルス感染症等流行下における住民避難計画について具体的な原子力災害対策の県民への説明を求めることについては、県では国のガイドラインや原子力防災訓練の結果検証を地域防災計画や避難計画に反映し既に情報発信を進めていること等から、「不採択」と決定した。また、12月には「鳥取・岡山両県を結ぶ道路の整備促進に関する要望書」を岡山県土木委員会と合同で、国等の関係機関へ送付し要望を行った。



## 令和3年2月定例会付議案等議決結果（全会一致で議決された議案）

議案等 番号	件名	議決 結果
①	令和3年度鳥取県一般会計予算	可決
②	令和3年度鳥取県用品調達等集中管理事業特別会計予算	可決
③	令和3年度鳥取県公債管理特別会計予算	可決
④	令和3年度鳥取県給与集中管理特別会計予算	可決
⑥	令和3年度鳥取県母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	可決
⑦	令和3年度鳥取県中小企業近代化資金助成事業特別会計予算	可決
⑧	令和3年度鳥取県就農支援資金貸付事業特別会計予算	可決
⑨	令和3年度鳥取県林業・木材産業改善資金助成事業特別会計予算	可決
⑩	令和3年度鳥取県県営林事業特別会計予算	可決
⑪	令和3年度鳥取県県営境港水産施設事業特別会計予算	可決
⑫	令和3年度鳥取県沿岸漁業改善資金助成事業特別会計予算	可決
⑬	令和3年度鳥取県港湾整備事業特別会計予算	可決
⑭	令和3年度鳥取県収入証紙特別会計予算	可決
⑮	令和3年度鳥取県県立学校農業実習特別会計予算	可決
⑯	令和3年度鳥取県育英奨学事業特別会計予算	可決
⑰	令和3年度鳥取県天神川流域下水道事業会計予算	可決
⑱	令和3年度鳥取県営工業用水道事業会計予算	可決
⑳	令和3年度鳥取県営埋立事業会計予算	可決
㉑	令和3年度鳥取県営病院事業会計予算	可決
㉒	令和2年度鳥取県一般会計補正予算（第9号）	可決
㉓	令和2年度鳥取県公債管理特別会計補正予算（第1号）	可決
㉔	令和2年度鳥取県国民健康保険運営事業特別会計補正予算（第2号）	可決
㉕	令和2年度鳥取県中小企業近代化資金助成事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉖	令和2年度鳥取県林業・木材産業改善資金助成事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉗	令和2年度鳥取県県営林事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉘	令和2年度鳥取県県営境港水産施設事業特別会計補正予算（第2号）	可決
㉙	令和2年度鳥取県港湾整備事業特別会計補正予算（第2号）	可決
㉚	令和2年度鳥取県育英奨学事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉛	令和2年度鳥取県天神川流域下水道事業会計補正予算（第2号）	可決
㉜	令和2年度鳥取県営電気事業会計補正予算（第3号）	可決
㉝	令和2年度鳥取県営病院事業会計補正予算（第6号）	可決
㉞	食品衛生法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決

議案等 番号	件名	議決 結果
㉟	鳥取県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例及び鳥取県手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決
㊱	鳥取県控除対象特定非営利活動法人の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例	可決
㊲	鳥取県石綿健康被害防止条例の一部を改正する条例	可決
㊳	鳥取県福祉のまちづくり条例の一部を改正する条例	可決
㊴	鳥取県市街化区域と一体的な地域等に係る開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決
㊵	鳥取県手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決
㊶	鳥取県監査委員条例の一部を改正する条例	可決
㊷	財産を無償で貸し付けること（元）鳥取農業高等学校実習農園）について	可決
㊸	財産を無償で貸し付けること（元）鳥取大学整備事業用地）について	可決
㊹	財産を無償で貸し付けること（鳥取県学生寮用地）について	可決
㊺	財産を無償で譲渡すること（日野高等学校三本松農場）について	可決
㊻	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	可決
㊼	権利の放棄（過年度分恩給過払返納金）について	可決
㊽	権利の放棄（鳥取県保育士等修学資金返還金）について	可決
㊾～㊿	権利の放棄（病院事業診療費）について	可決
㊿	県営土地改良事業等の施行に伴う市町村負担金についての議決の一部変更について	可決
㊿	鳥取県基金条例の一部を改正する条例	可決
㊿	鳥取県税条例等の一部を改正する条例	可決
㊿	鳥取県職員定数条例の一部を改正する条例	可決
㊿	鳥取県人権尊重の社会づくり条例の一部を改正する条例	可決
㊿	鳥取県障害福祉サービス事業に関する条例等の一部を改正する条例	可決
㊿	鳥取県児童福祉施設に関する条例及び鳥取県障害児通所支援事業及び障害児入所施設に関する条例の一部を改正する条例	可決
㊿	鳥取県軽費老人ホームに関する条例等の一部を改正する条例	可決
㊿	鳥取県教育委員会教育長の任命について	同意
㊿～㊿	鳥取海区漁業調整委員会委員の任命について	同意
㊿～㊿	鳥取県男女共同参画推進員の任命について	同意
㊿	鳥取県議会委員会条例の一部を改正する条例	可決
㊿	鳥取県議会会議規則の一部を改正する規則	可決
㊿	新型コロナウイルス感染症により影響を受けた飲食業等への支援を求める意見書	可決
㊿	犯罪被害者支援の充実を求める意見書	可決

【凡例】 ○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案

自由民主党													会派民主						公明党				無所属				賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果	
浜田	中島	内田	内田	齊木	浜崎	西川	広谷	野坂	島谷	川部	福田	藤縄	西村	坂野	森	尾崎	浜田	興治	伊藤	福岡	濱辺	澤	銀杏	福浜	市谷	山川					由田
一哉	規夫	隆嗣	博長	正一	晋一	憲雄	直樹	道明	龍司	洋	俊史	喜和	弥子	経三郎	雅幹	薫	妙子	英夫	保	裕隆	義孝	紀男	泰利	隆宏	知子	智帆	隆				
議案に対する賛否																															
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	31	1	32	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	31	1	32	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	31	1	32	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	31	1	32	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	×	○	30	2	32	可決
委員長報告に対する賛否																															
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	×	30	2	32	趣旨採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	○	○	×	×	×	21	11	32	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	○	○	×	×	×	21	11	32	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	×	30	2	32	趣旨採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	31	1	32	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	○	○	×	×	×	21	11	32	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	○	○	×	×	×	21	11	32	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	○	○	×	×	×	21	11	32	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	○	○	×	×	○	22	10	32	不採択

議案に対する賛否																															
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	32	1	33	可決

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。  
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

## 令和3年2月定例会付議案等議決結果（賛否が分かれた議案及び否決された議案）

議案等番号	件名	自由民主党							
		松田正	藤井一博	鹿島功	山口雅志	安田由毅	常田賢二	語堂正範	
⑤	令和3年度鳥取県国民健康保険運営事業特別会計予算	○	○	○	欠	○	○	○	
⑱	令和3年度鳥取県営電気事業会計予算	○	○	○	欠	○	○	○	
⑳	鳥取県営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	欠	○	○	○	
④⑥	財産を無償で譲渡すること（県営住宅中南団地）について	○	○	○	欠	○	○	○	
④⑦	財産を無償で譲渡すること（県営住宅智頭第2団地）について	○	○	○	欠	○	○	○	
⑦⑤	事業契約（鳥取県西部総合事務所新棟・米子市役所靴町庁舎整備等事業）の締結について	○	○	○	欠	○	○	○	
議案等番号	件名	委員長報告							
陳情3年-1	悪徳商法による消費者被害をなくすために、預託法の改正及び執行強化、並びに特定商取引法の改正、同法指針の改正及び執行強化を求める意見書の提出について	趣旨採択	○	○	○	欠	○	○	○
陳情3年-2	国立病院の機能強化を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	欠	○	○	○
陳情3年-3	新型コロナウイルスの拡散防止に係る政府の基礎的対処方針について、政府内における遵守徹底を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	欠	○	○	○
陳情3年-4	男女雇用機会均等法の理念に基づいた男女共同参画施策の更なる推進を求める意見書の提出について	趣旨採択	○	○	○	欠	○	○	○
陳情3年-5	国旗の破壊・損壊への処罰規定の新設に係る意見書の提出について	不採択	○	○	○	欠	○	○	○
陳情3年-6	新型コロナウイルス感染症等流行下における住民避難計画について具体的な原子力災害対策の県民への説明を求めることについて	不採択	○	○	○	欠	○	○	○
陳情3年-7	屋内退避における新たな知見に基づいた避難計画の見直しを検討することについて	不採択	○	○	○	欠	○	○	○
陳情3年-8	鳥取県原子力安全顧問会議において、12/4大阪地裁判決を踏まえた基準地震動の考え方について、原告からのヒアリング及び検証を求めることについて	不採択	○	○	○	欠	○	○	○
陳情3年-9	保育士の全面パート化につながる短時間勤務保育士の活用促進ではなく、保育所職員の配置基準改善、処遇向上のための必要な措置を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	欠	○	○	○

## 令和3年1月臨時会付議案等議決結果（賛否が分かれた議案及び否決された議案）

議案等番号	件名							
①	令和2年度鳥取県一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○
②	鳥取県基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案

賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長、「欠」欠席。

※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

# インターネット放送局のご案内

鳥取県議会では、本会議、常任委員会、特別委員会などの生中継と録画中継を配信しています！



県議会インターネット放送局

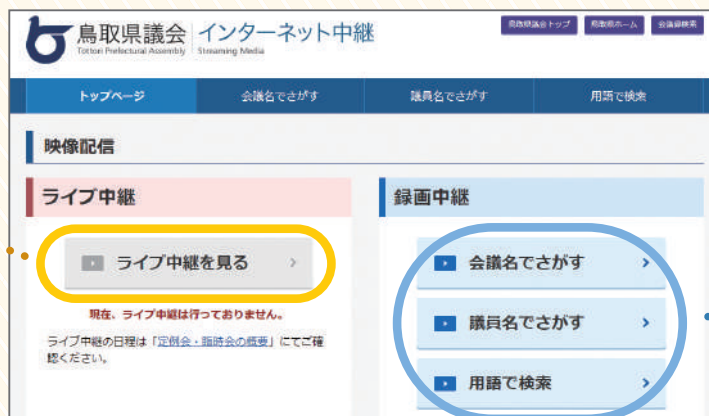
スマートフォンからもご視聴できます。



<https://www.pref.tottori.lg.jp/1367.htm>

## ライブ中継を見る

をクリックすればすぐに中継が見られます。



Click

過去の中継は

- ・会議名
- ・議員名
- ・用語

から検索できます。

## 県議会からのお知らせ

### 6月定例会の日程案

期日	日程
6月14日(月)	本会議(開会・提案理由説明)
15日(火)	常任委員会
16日(水)	本会議(代表質問)
18日(金)	本会議(一般質問・質疑)
21日(月)	
23日(水)	
24日(木)	
28日(月)	
29日(火)	
7月 1日(木)	常任委員会
2日(金)	特別委員会
5日(月)	本会議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。  
※ 午前10時開始の予定です。

### 委員会室にアクリル板を設置しました

2月定例会から、常任委員会室に飛沫感染防止のためのアクリル板を設置しました。

また、定期的な換気や消毒、入口にはアルコール消毒を設置するなど、感染防止の取組を徹底しています。



### あ と が き

「とっとり県議会だより」では、年4回召集されます各定例議会における議論の中身、また採決結果等をご報告させていただいております。

コロナ禍の影響等、世界は今まさに変革の時代を迎えておりますが、引き続き分かり易い誌面作りを目指して参りたいと考えております。(広報委員M)

発行日/令和3年6月1日

編集・発行/鳥取県議会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220

☎0857-26-7460 FAX0857-26-7461 e-mail : gikaisoumu@pref.tottori.lg.jp